

令和5年度第1回大阪府地方独立行政法人  
大阪府立環境農林水産総合研究所評価委員会  
議事要旨

1 日 時 令和5年7月28日（金）午後2時30分から4時30分

2 場 所 （地独）大阪府立環境農林水産総合研究所3階大会議室

3 出席委員 吉井委員長、藤山委員、川原委員、奥本委員、黒田委員、  
兒玉専門委員、津塩専門委員

4 議事内容

（1）委員長及び委員長代理の選任について

- ・吉井委員を委員長に推挙する意見が委員から出され、吉井委員が当委員会の委員長に決定された。また、吉井委員長より藤山委員、川原委員が委員長代理に指名された。

（2）令和4事業年度の業務実績に関する評価について

- ・事務局より資料2-1から2-6に基づき、令和4事業年度の業務実績評価案について説明を行い了解を得た。

<主な意見>

- ・大阪湾で多く獲れるマイワシの頭部等、廃棄部分の有効活用策の発見は非常に評価している。
- ・ワイン醸造やそのためのぶどうの育種等の研究成果が表れてきており、評価に値する。
- ・水産分野の技術支援や情報発信回数が多く、きめ細かな支援をいただき評価している。
- ・全国的に色落ちノリが課題になっている。府内ノリ養殖は小規模で費用対効果は小さいかもしれないが、生態系の底辺にあるノリは重要な役割は担うと思うので、引き続き支援されたい。
- ・今後重要な指標となりうる環境DNAの採取情報を全て記録し、データベース化を進めていることは評価したい。
- ・調査研究や技術相談等と並行して、論文として公表している点は高く評価したい。
- ・研究支援体制を整備し、外部資金を多く確保するとともに、獲得した資金の適正使用を目的とした予算会計研修を全職員向けに実施する等、内部統制を図っている点を評価したい。
- ・エネルギーや原材料価格の高騰等、予想困難な情勢の中、電力使用量の見込み試算を早期に実施し、研究業務や法人運営に支障の無いように柔軟に対応した点は評価したい。

（3）第3期中期目標期間（見込）実績に関する評価について

- ・事務局より資料3-1から3-3に基づき、第3期中期目標期間（見込）実績に関する評価案について説明を行い概ね了解を得た。評価に関する意見については、委員長預かりとすることが決定された。

<主な意見>

- ・昆虫ビジネス研究開発において社会影響評価を取入れる等、社会受容の醸成を図って

いただきたい。

- 農業大学校の運営について、就学支援制度の新設やオープンキャンパスの実施等が、令和5年度志願者の回復に結び付いていると感じている。また、短期のプロ農家向け養成コースが定員を上回っているのは指導力の証左であり、社会のニーズに応えるものと評価できる。
- 女性職員比率が高い点はアピールすべき点である。なお、女性管理職の比率は低いが、将来に向かって改善に取組まれたい。
- 女性管理職の比率、男性職員の育児休業の取得率、男女の賃金格差は、社会的に公表を求められる時代である。次期中期計画の策定等において考慮されたい。

#### (4) その他

- 事務局より、第2回評価委員会の事務連絡を行った。

以上